

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。 2024年7月29日（月）  
発行者：宮野 大

## 医療・介護安全講演会（7/27）

### 「心理的安全性のある職場づくり」を学ぶ

今回で第21回目となる「新潟民医連医療・介護安全講演会」をオンラインで実施しました。5法人より26事業所、25の会場で約280人（集約時）が参加しました。

集合研修が再開されていますが、医療・介護安全講演会は、グループワークを実施しやすいという理由から、各会場でのオンライン開催を続けることにしました。

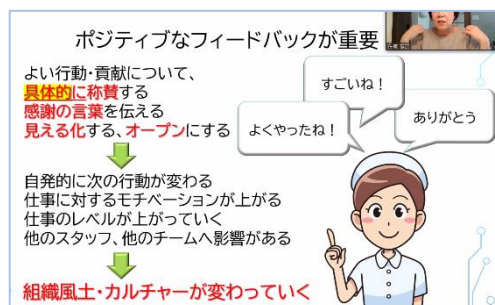
講演で心理的安全性を学ぶ中で、実際に心理的安全性とは何かを感じてもらうため、二人一組でワークを実施しました。初回は相手の話を完全に無視し、お互いがどう感じるか、次に相手の話を傾聴し、お互いがどう感じるかを体験しました。無視した場合は「悲しい、むなしい、時間が長く感じる」、傾聴した場合は「楽しい、気分が高揚、時間が早く感じた」等、まったく正反対の実感となり、傾聴することの大切さをあらためて確認する機会になりました。

また心理的安全性のある職場づくりのため、「デイリーパドル(ポジティブ報告)」を朝会で取り入れ、最初は苦手意識を感じていた職員も、時がたつにつれ慣れてきたこと、また話を聞いてもらえることで変化を感じた…という事例も紹介してもらいました。

他にもたくさんのヒントをいただき、参加者が「明日からできそうなこと」を考える良いきっかけになりました。



講師の佐藤恭江さん  
岡山協立病院リスクマネージャー



#### 開会あいさつ(五十嵐修新潟勤医協理事長)

##### ～安全講演会を継続する意味～

2002年に、下越病院で医療事故を起こしたことをきっかけに、過ちは個人の責任ではなく組織にあること、それを毎年思い起こすために実施している…ということが語られました。

#### 閉会あいさつ(本間丈成副会長)

自ら行動変容し、ポジティブフィードバックをしましょう、そして仕事をしやすい「働きやすい職場づくり」を、みなさんが明日から進めていってください。



「ワーク」で院長先生の話を完全無視する様子